



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 について
 - 3.1. FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 とは
 - 3.2. IOWebDOC (iod) 定義 とは
 - 3.3. IOWebDOC (ddl) 定義 とは
 - 3.4. 帳票作成（中間IOD結合）タスク とは
- 4. 操作方法
 - 4.1. 帳票レイアウトファイルを作成する
 - 4.2. ユーザ定義タスクを作成する
 - 4.3. ロジックフロー定義を作成する
- 5. 付録
 - 5.1. ユーザ定義タスク
 - 5.2. 帳票作成（中間IOD結合）タスク

変更年月日	変更内容
2017-08-01	初版
2017-12-01	第2版 下記を追加・変更しました。 「設定ファイル」にPDF帳票サーバを使用する場合の設定項目を追加 「WARファイルのデプロイ」を追加
2018-12-01	第3版 下記を追加・変更しました。 表記のゆれを訂正
2020-08-01	第4版 下記を追加・変更しました。 「設定ファイル」のスタンドアローン構成、分散構成に関するリンク先を変更 「トラブルシューティング」を「IM-PDFDesigner for Accel Platform トラブルシューティング」へ移行
2020-12-01	第5版 下記を追加・変更しました。 「はじめに」 「対象読者」の記述を変更 「本書の構成」の記述を変更 「IM-LogicDesigner 連携 のセットアップ方法」を「IM-PDFDesigner for Accel Platform セットアップガイド」へ移行 「FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 について」 「FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 とは」の記述を変更 「操作方法」を追加 「単票形式のPDF帳票を出力する方法」を「操作方法」へ移行し、構成と記述を変更 「表形式のPDF帳票を出力する方法」を「操作方法」へ移行し、構成と記述を変更 「付録」 「IOWebDOC (iod) 定義」 「入力値」の記述を変更 「IOWebDOC (ddl) 定義」 「入力値」の記述を変更 「その他の操作方法」を追加
2022-06-01	第6版 下記を追加・変更しました。 「IM-PDF Designer for Accel Platform IM-LogicDesigner連携」から「IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform IM-LogicDesigner連携」に名称を変更 「IM-LogicDesigner 連携」から「FullPack版 IM-LogicDesigner 連携」に名称を変更 「FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 について」 「IOWebDOC (iod) 定義 とは」に「^」に関する注意を追加 「付録」 「IOWebDOC (ddl) 定義」 「入力値」に画像ファイルを指定する際の注意を追加

変更年月日	変更内容
2023-10-01	第7版 下記を追加・変更しました。 「 ユーザ定義タスク 」にインポート／エクスポートに関する注意を追加
2024-04-01	第8版 下記を追加・変更しました。 「 はじめに 」 「 本書の構成 」の付録の説明を変更 「 FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 について 」 「 FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 とは 」の機能に関する記述を変更 「 IOWebDOC (iod) 定義 とは 」の帳票形式の記述を変更 「 帳票作成 (中間OD結合) タスク とは 」を追加 「 操作方法 」 「 レイアウトファイルを作成する 」の見出しを「 帳票レイアウトファイルを作成する 」に変更し、単ページ定義、複数ページ定義の記述を追加、および、帳票レイアウトファイルの作成方法のリンク先を変更 「 IOWebDOC (iod) 定義 を作成する 」 「 定義内容を編集する 」に単ページ定義、複数ページ定義の記述を追加 「 ユーザ定義タスクを配置する 」の見出しを「 タスクを配置する 」に変更し、タスク、および、storage型に関する記述を変更 「 マッピングの設定を行う 」のタスクに関する記述を変更、および、入力値に関するリンク先を変更 「 共通の設定 」を追加 「 出力ファイル 」を「 共通の設定 」に移動し、storage型に関する注意を変更 「 文書情報 」を「 共通の設定 」に移動 「 セキュリティ情報 」を「 共通の設定 」に移動 「 帳票データ 」の見出しを「 固有の設定 」に変更 「 単ページ定義 」を追加 「 IOWebDOC (iod) 定義 」の記述を「 単ページ定義 」に移動 「 複数ページ定義 」を追加 「 IOWebDOC (ddl) 定義 」を「 固有の設定 」に移動 「 帳票作成 (中間OD結合) タスク 」を追加 「 付録 」 「 IOWebDOC (iod) 定義 (単ページ定義) 」 「 IOWebDOC (iod) 定義 」の見出しを「 IOWebDOC (iod) 定義 (単ページ定義) 」に変更 「 入力値 」の説明を変更 「 返却値 」の説明を変更 「 IOWebDOC (iod) 定義 (複数ページ定義) 」を追加 「 IOWebDOC (ddl) 定義 」 「 入力値 」の説明を変更 「 返却値 」の説明を変更 「 帳票作成 (中間OD結合) タスク 」を追加

変更年月日	変更内容
2025-04-01	第9版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「IOWebDOC (iod) 定義 とは」の注意の記述を変更 ▪ 「帳票レイアウトファイルを作成する」に Web版帳票デザインツール、および、FullPack 版 Formaフォーム→IOD変換 の記述を追加 ▪ 「IOWebDOC (iod) 定義 を作成する」 ▪ 「定義内容を編集する」の表示されるファイルに関するコラムの記述を変更

本書の目的

本書では IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform IM-LogicDesigner連携（以下 FullPack版 IM-LogicDesigner 連携）の機能概要と操作方法について説明します。

対象読者

次の利用者を対象としています。

- FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を利用してPDF帳票の出力処理を作成する方

なお、FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を利用するためには IM-LogicDesigner の機能や仕組みを理解している必要があります。

IM-LogicDesigner の詳細については、「[IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド](#)」を参照してください。

本書の構成

- [FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 について](#)

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 の概要について説明します。

- [操作方法](#)

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 の操作方法について説明します。

- [付録](#)

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 が提供するタスクの仕様について説明します。

- FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 とは
- IOWebDOC (iod) 定義 とは
- IOWebDOC (ddl) 定義 とは
- 帳票作成 (中間IOD結合) タスク とは

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 とは

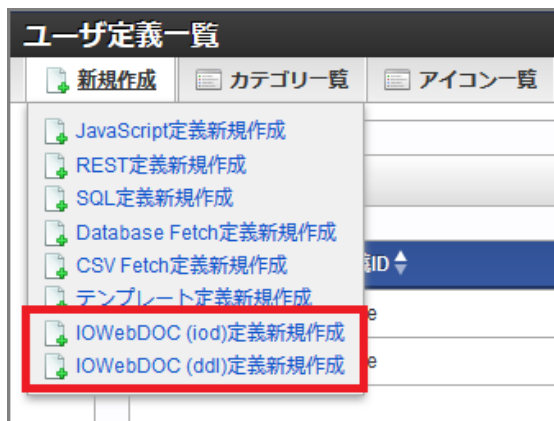
FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 は、IM-LogicDesigner 上でPDF帳票の出力処理を作成するためのアプリケーションです。

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 の主な特徴は次の通りです。

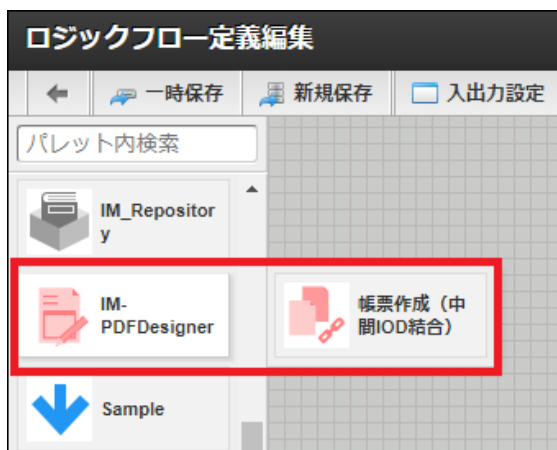
- プログラミングの知識不要で、GUI上の操作だけ（ノーコード）でPDF帳票の出力処理を作成できます。
- IM-LogicDesigner のタスクとして提供されるため、様々なアプリケーションから呼び出すことができます。
- 単票、連票、複数票の結合、および、改ページの自動制御に対応しています。
- 出力するPDF帳票に文書情報やセキュリティを付与できます。

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を導入すると次の項目が追加されます。

- 「ユーザ定義一覧」画面の作成可能なユーザ定義の一覧
 - IOWebDOC (iod)定義新規作成
 - IOWebDOC (ddl)定義新規作成



- 「ロジックフロー定義編集」画面のパレット
 - 「IM-PDFDesigner」 - 「帳票作成 (中間IOD結合) 」



- 「ユーザ定義追加」 - 「 IOWebDOC (iod)定義新規作成 」
- 「ユーザ定義追加」 - 「 IOWebDOC (ddl)定義新規作成 」



IOWebDOC (iod) 定義 とは

IOWebDOC (iod) 定義 とは、単票形式（単ページ定義）、または、連票形式（複数ページ定義）のPDF帳票を出力するユーザ定義タスクです。



注意

単票形式 IODOC の文字枠に埋め込むデータとして、「^」は特別な意味をもちます。

文字枠内で「^」を表示する場合は、「^5E」とする必要があります。

詳しくは、「[IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド](#)」-「[「^」の扱いについて](#)」を参照してください。

IOWebDOC (ddl) 定義 とは

IOWebDOC (ddl) 定義 とは、連票形式のPDF帳票を出力するユーザ定義タスクです。

帳票作成（中間IOD結合）タスク とは

帳票作成（中間IOD結合）タスク とは、帳票レイアウトファイルにデータを埋め込んだ中間ファイル（IODファイル）同士を結合し、様々な形式のPDF帳票を出力するタスクです。

帳票レイアウトファイルを作成する

帳票デザインツールや FullPack版 Formaフォーム→IOD変換 を利用して、帳票レイアウトファイルを作成します。

利用可能なツールの種類、および、帳票レイアウトファイルの拡張子については、次の通りです。

帳票形式	ツール	ファイル拡張子
単票形式（単ページ）／連票形式（複数ページ）	クライアント版帳票デザインツール IODOC Web版帳票デザインツール FullPack版 Formaフォーム→IOD変換	iod
連票形式	クライアント版帳票デザインツール IOBDOC	ddl



コラム

帳票レイアウトファイルの作成方法については、次を参照してください。

- クライアント版帳票デザインツール
「IM-PDFDesigner for Accel Platform プログラミングガイド」 - 「帳票デザインツール IOWebDOC について」
- Web版帳票デザインツール
「IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform Web版帳票デザインツール イントラマート連携 操作ガイド」
- FullPack版 Formaフォーム→IOD変換
「IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform Formaフォーム→IOD変換 仕様書」

ユーザ定義タスクを作成する

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を利用したユーザ定義タスクの作成方法について示します。



コラム

ユーザ定義の詳細については、「IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド」 - 「ユーザ定義」を参照してください。

- IOWebDOC（iod）定義 を作成する
 - 新規登録画面を表示する
 - 定義内容を編集する
- IOWebDOC（ddl）定義 を作成する
 - 新規登録画面を表示する
 - 定義内容を編集する

IOWebDOC（iod）定義 を作成する

新規登録画面を表示する

次の手順で「IOWebDOC（iod）編集」画面を表示します。

1. 「サイトマップ」 - 「LogicDesigner」 - 「ユーザ定義」 - 「ユーザ定義一覧」をクリックします。



「ユーザ定義一覧」画面が表示されます。



2. ツールバーの「新規作成」をクリックします。作成可能なユーザ定義の一覧が表示されます。



3. 「IOWebDOC (iod)定義新規作成」をクリックします。



「IOWebDOC (iod)編集」画面が表示されます。

IOWebDOC (iod)編集

ユーザー定義一覧

ユーザー定義共通設定

ユーザー定義ID *

バージョン番号 *

1

ユーザー定義名 *

標準 *

日本語

英語

中国語 (中国)

ユーザーカテゴリ *

検索

新規作成

ユーザーカテゴリID *

ユーザーカテゴリ名

ソート番号 *

100

アイコン

選択

クリア

入力値

string

integer

date

object

boolean

追加

配下に配置する

JSON入力

配列型にする

キー名を変更

型を変更

削除

全削除

返却値

string

integer

date

object

boolean

追加

配下に配置する

JSON入力

配列型にする

キー名を変更

型を変更

削除

全削除

IOWebDOC (iod)

帳票レイアウトファイル *

選択ファイル

定義内容を編集する

次の手順で定義内容を編集し、ユーザ定義を登録します。

1. 「ユーザ定義共通設定」の各項目を入力します。

IOWebDOC (iod)編集

ユーザ定義一覧

ユーザ定義共通設定

ユーザ定義ID * IOWebDOC.iod

バージョン番号 * 1

ユーザ定義名 *

標準 *	
日本語	IOWebDOC (iod)定義
英語	IOWebDOC (iod)Definition
中国語 (中国)	IOWebDOC (iod)定義

ユーザカテゴリ *

ユーザカテゴリID * sample

ユーザカテゴリ名 Sample

ソート番号 * 100

アイコン

入力値

boolean integer date object

boolean 追加 配下に配置する JSON入力

配列型にする キー名を変更 型を変更 削除 全削除

返却値

boolean integer date object

boolean 追加 配下に配置する JSON入力

配列型にする キー名を変更 型を変更 削除 全削除

IOWebDOC (iod)



コラム

「入力値」、および、「返却値」は入力できません。帳票レイアウトファイル選択時に自動生成されます。

- 「IOWebDOC (iod)」 - 「帳票レイアウトファイル」のファイルツリー上でディレクトリを選択し、「アップロード」ボタンをクリックします。

ファイル選択ダイアログが表示されるので、アップロードするファイルを選択します。

IOWebDOC (iod)

帳票レイアウトファイル *

選択ファイル

iod

詳細

パス /

最終更新日時 2020/09/14 11:33:46

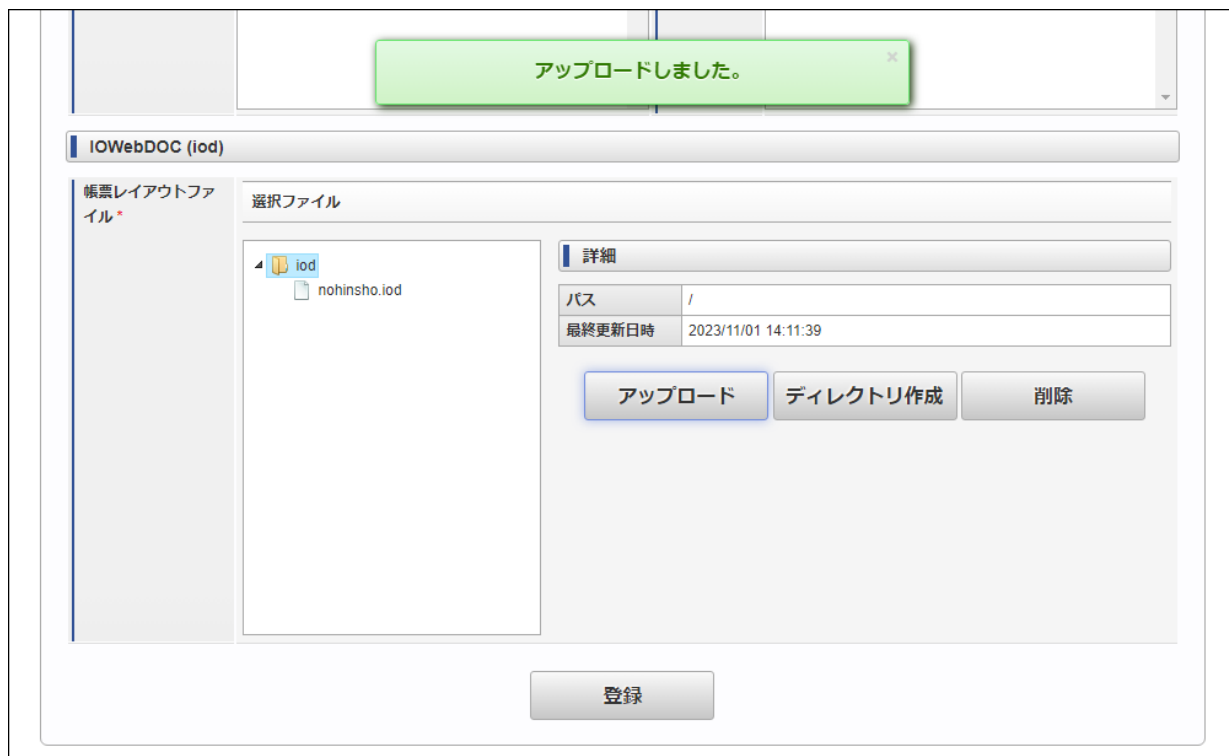
アップロード ディレクトリ作成 削除



コラム

ファイル選択ダイアログで表示されるファイルの種類は .iod （単票形式 IODOC の帳票レイアウトファイル）のみです。

- メッセージが表示され、アップロードしたファイルがファイルツリー上に追加されます。



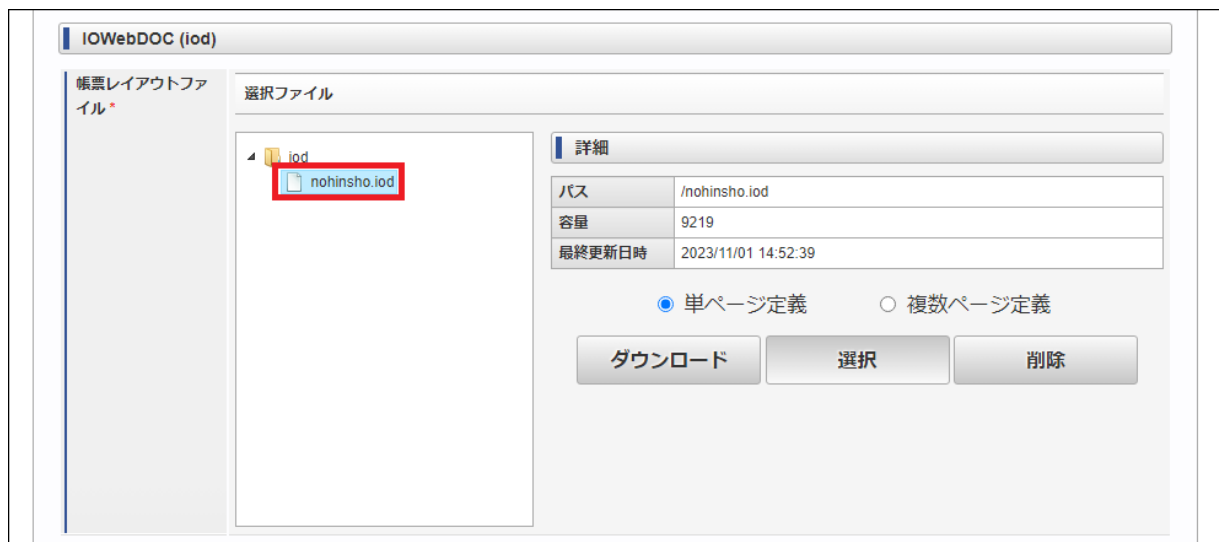
コラム

ファイルのアップロード以外に、次の操作が可能です。

- ディレクトリの作成
- ディレクトリ、および、ファイルの削除
- ファイルのダウンロード

操作方法については、「[その他の操作方法](#)」を参照してください。

4. ファイルツリー上で対象の帳票レイアウトファイルを選択します。



5. 帳票形式に合わせて次の定義を選択後、「選択」ボタンをクリックします。

帳票形式 定義

単票形式 単ページ定義

連票形式 複数ページ定義

入力値

+ string
+ integer
+ date
+ object

+ IM-Repository

boolean
+ 追加
配下に配置する
JSON入力

☐ 配列型にする
キー名を変更
型を変更
削除
全削除

返却値

+ string
+ integer
+ date
+ object

+ IM-Repository

boolean
+ 追加
配下に配置する
JSON入力

☐ 配列型にする
キー名を変更
型を変更
削除
全削除

IOWebDOC (iod)

帳票レイアウトファイル*

選択ファイル

iod

nohinsho.iod

詳細

パス

/nohinsho.iod

容量

9219

最終更新日時

2023/11/01 14:52:39

☒ 単ページ定義
☐ 複数ページ定義

ダウンロード

選択

削除



コラム

連票形式（複数ページ定義）は、次の帳票を作成するのに適しています。

- 連続した表形式の帳票
- データ数可変の明細表を扱う帳票

選択した帳票レイアウトファイルの「入力値」、および、「返却値」が自動生成されます。

入力値

+ string
+ integer
+ date
+ object

+ IM-Repository

boolean
+ 追加
配下に配置する

JSON入力

☐ 配列型にする
 キー名を変更
 型を変更

削除
 全削除

- outputFile <storage>
- ▲ □ docInfo <object>
 - title <string>
 - subTitle <string>
 - author <string>
 - application <string>
- ▲ □ security <object>
 - openPassword <string>
 - securityPassword <string>
 - allowPrint <boolean>
 - allowEdit <boolean>
 - allowCopy <boolean>
 - allowAnnotate <boolean>
- ▲ □ reportData <object>
 - hatchusha <string>

返却値

+ string
+ integer
+ date
+ object

+ IM-Repository

boolean
+ 追加
配下に配置する

JSON入力

☐ 配列型にする
 キー名を変更
 型を変更

削除
 全削除

- outputFile <storage>

IOWebDOC (iod)

帳票レイアウトファイル*

選択ファイル /nohinsho.iod

- ▲ iod
 - nohinsho.iod

詳細

パス	/nohinsho.iod
容量	9219
最終更新日時	2023/11/01 14:52:39

☒ 単ページ定義
☐ 複数ページ定義

ダウンロード

選択

削除

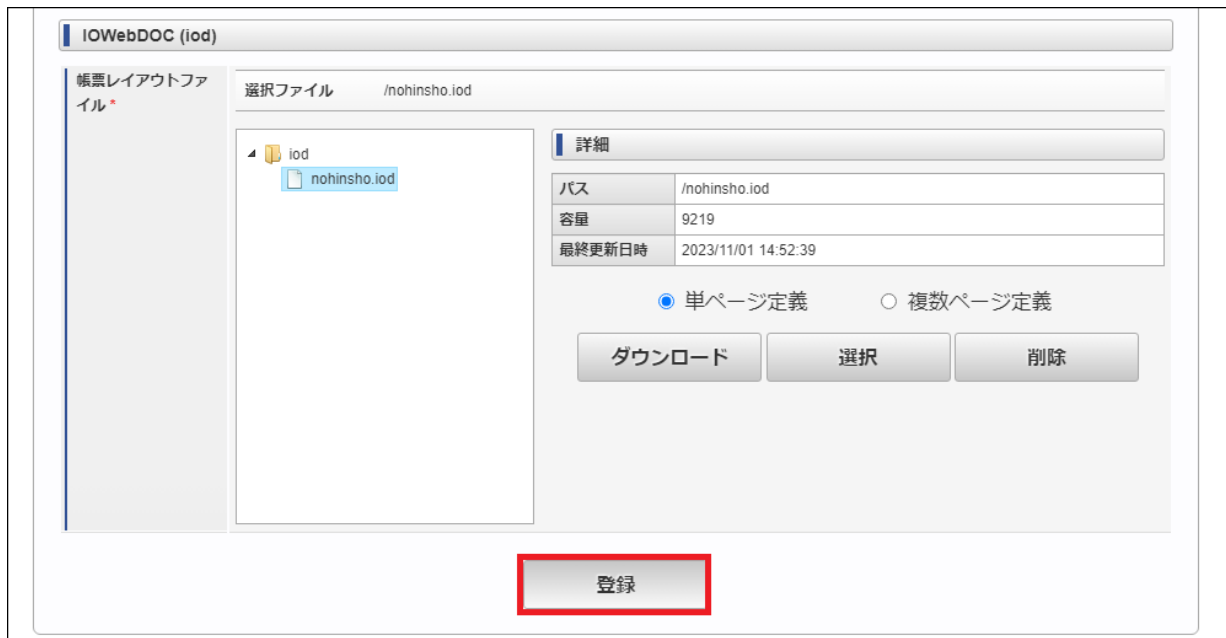


コラム

「入力値」、および、「返却値」の詳細については、次を参照してください。

- 単ページ定義
 - 「[入力値](#)」
 - 「[返却値](#)」
- 複数ページ定義
 - 「[入力値](#)」
 - 「[返却値](#)」

6. 「登録」ボタンをクリックします。



7. 確認ダイアログが表示されるので、「決定」ボタンをクリックします。



メッセージが表示され、「ユーザ定義一覧」画面に作成したユーザ定義が追加されます。



IOWebDOC (ddl) 定義 を作成する

新規登録画面を表示する

次の手順で「IOWebDOC (ddl)編集」画面を表示します。

1. 「サイトマップ」 - 「LogicDesigner」 - 「ユーザ定義」 - 「ユーザ定義一覧」をクリックします。



「ユーザ定義一覧」画面が表示されます。



2. ツールバーの「新規作成」をクリックします。作成可能なユーザ定義の一覧が表示されます。



3. 「IOWebDOC (ddl)定義新規作成」をクリックします。



「IOWebDOC (ddl)編集」画面が表示されます。

IOWebDOC (ddl)編集

ユーザ定義一覧

ユーザ定義共通設定

ユーザ定義ID *

バージョン番号 *

1

ユーザ定義名 *

標準 *

日本語

英語

中国語 (中国)

ユーザカテゴリ *

検索

新規作成

ユーザカテゴリID *

ユーザカテゴリ名

ソート番号 *

100

アイコン

選択

クリア

入力値

string

integer

date

object

boolean

追加

配下に配置する

JSON入力

☐ 配列型にする

キー名を変更

型を変更

削除

全削除

返却値

string

integer

date

object

boolean

追加

配下に配置する

JSON入力

☐ 配列型にする

キー名を変更

型を変更

削除

全削除

IOWebDOC (ddl)

帳票レイアウトファイル *

選択ファイル

定義内容を編集する

次の手順で定義内容を編集し、ユーザ定義を登録します。

1. 「ユーザ定義共通設定」の各項目を入力します。

IOWebDOC (ddl)編集

ユーザ定義一覧

ユーザ定義共通設定

ユーザ定義ID * IOWebDOC.ddl

バージョン番号 * 1

ユーザ定義名 *

標準 *	IOWebDOC (ddl)定義
日本語	IOWebDOC (ddl)定義
英語	IOWebDOC (ddl)Definition
中国語 (中国)	IOWebDOC (ddl)定義

ユーザカテゴリ *

検索 新規作成

ユーザカテゴリID * sample

ユーザカテゴリ名 Sample

ソート番号 * 100

アイコン 選択 クリア

入力値

+ string + integer + date + object

boolean ▼ + 追加 ☐ 配下に配置する

JSON入力

☐ 配列型にする ☒ キー名を変更 ☒ 型を変更 削除

全削除

返却値

+ string + integer + date + object

boolean ▼ + 追加 ☐ 配下に配置する

JSON入力

☐ 配列型にする ☒ キー名を変更 ☒ 型を変更 削除

全削除

IOWebDOC (ddl)



コラム

「入力値」、および、「返却値」は入力できません。帳票レイアウトファイル選択時に自動生成されます。

- 「IOWebDOC (ddl)」 - 「帳票レイアウトファイル」のファイルツリー上でディレクトリを選択し、「アップロード」ボタンをクリックします。

ファイル選択ダイアログが表示されるので、アップロードするファイルを選択します。

IOWebDOC (ddl)

帳票レイアウトファイル *

選択ファイル

ddl

詳細

パス /

最終更新日時 2020/09/16 11:37:51

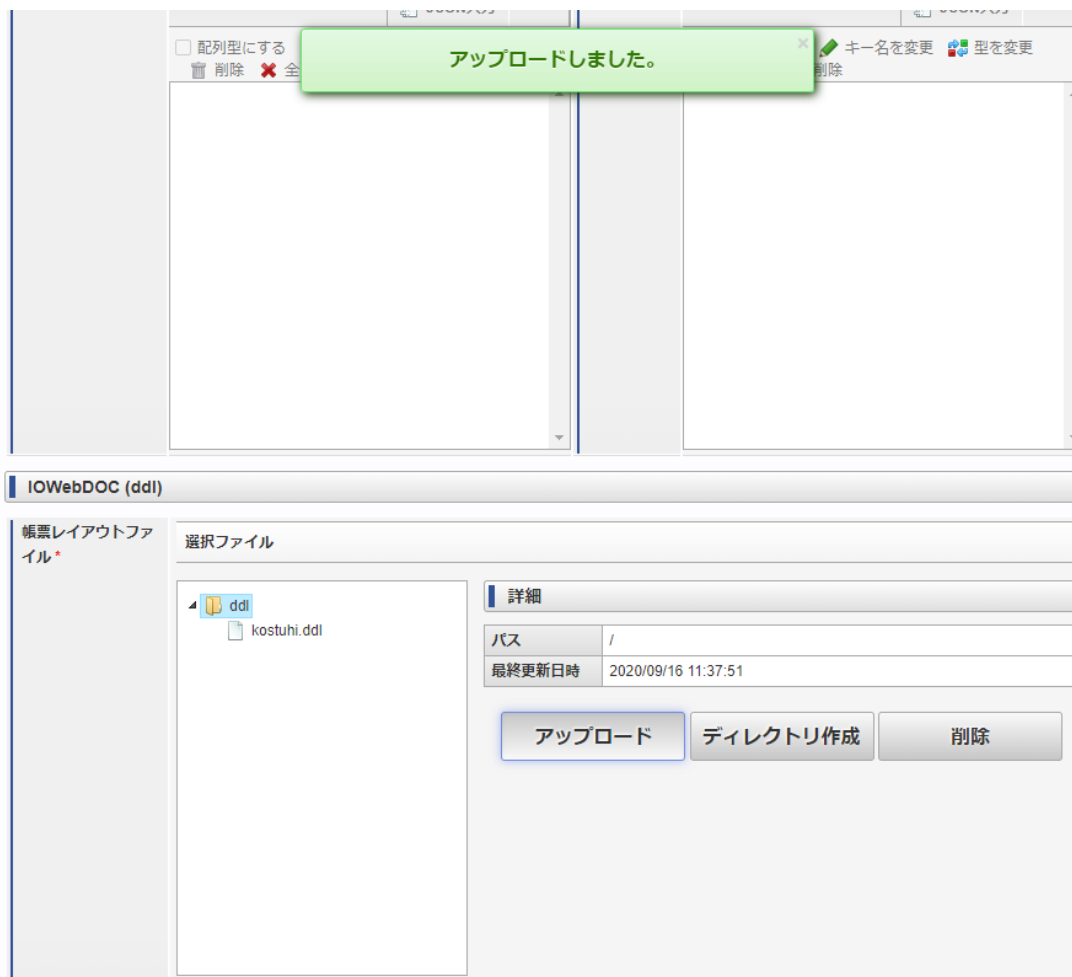
アップロード ディレクトリ作成 削除



コラム

ファイル選択ダイアログで表示されるファイルの種類は .ddl （帳票デザインツール IOBDOC で作成した帳票レイアウトファイル）のみです。

- メッセージが表示され、アップロードしたファイルがファイルツリー上に追加されます。



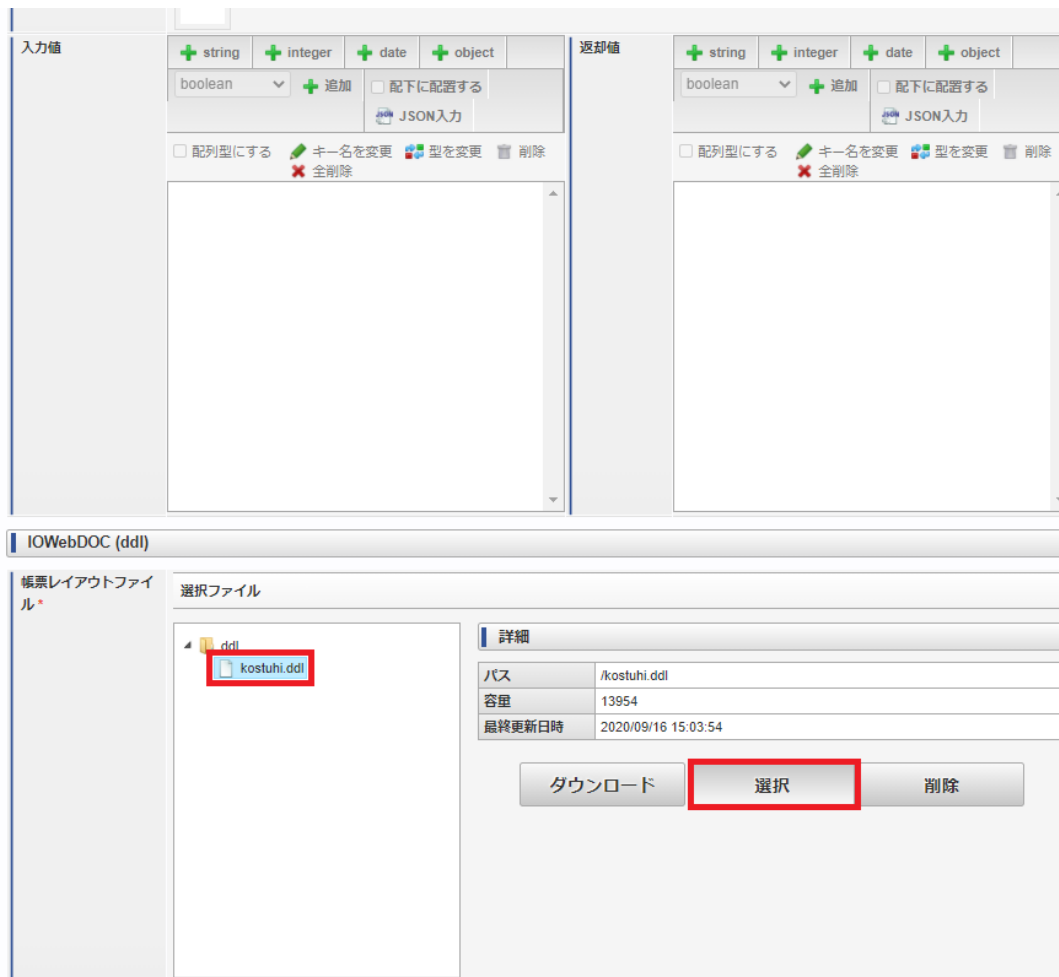
コラム

ファイルのアップロード以外に、次の操作が可能です。

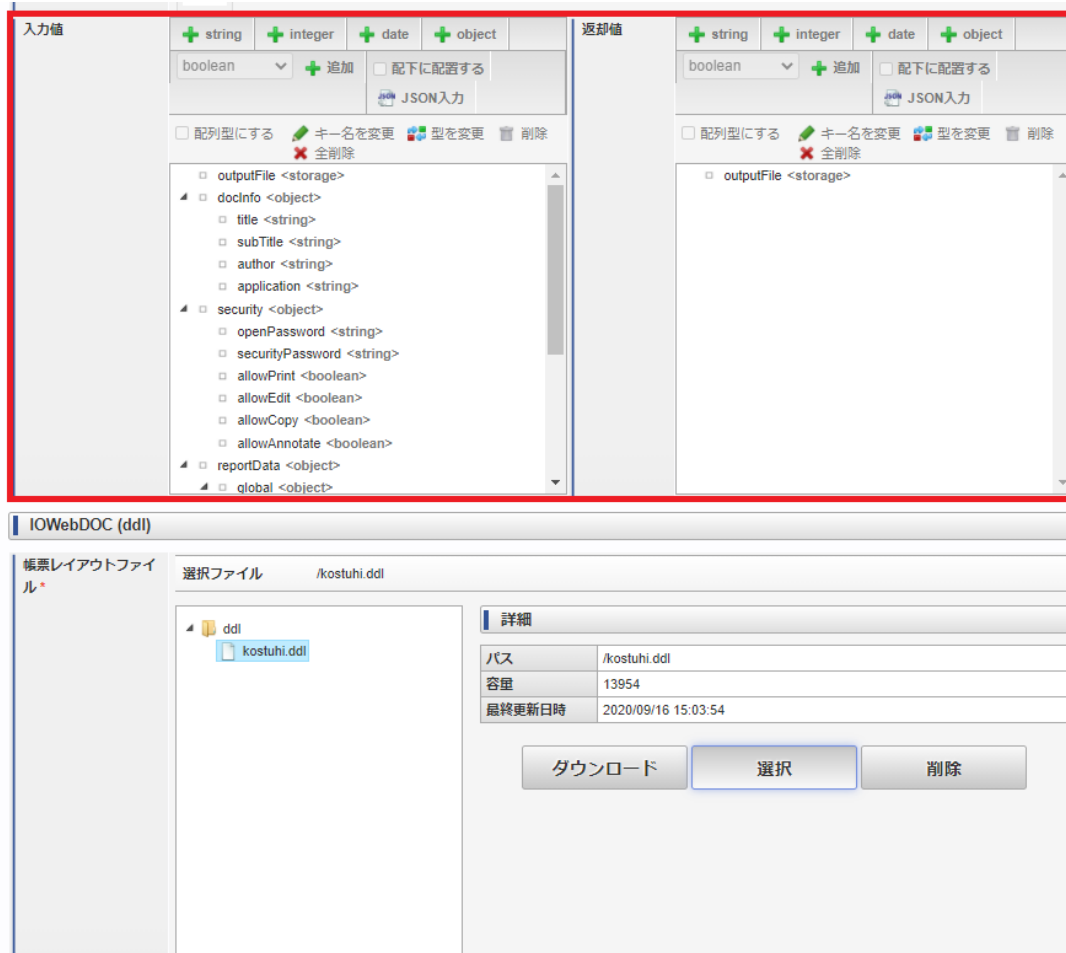
- ディレクトリの作成
- ディレクトリ、および、ファイルの削除
- ファイルのダウンロード

操作方法については、「[その他の操作方法](#)」を参照してください。

4. ファイルツリー上で対象の帳票レイアウトファイルを選択し、「選択」ボタンをクリックします。



選択した帳票レイアウトファイルの「入力値」、および、「返却値」が自動生成されます。





コラム

「入力値」、および、「返却値」の詳細については、次を参照してください。

- 「[入力値](#)」
- 「[返却値](#)」

5. 「登録」ボタンをクリックします。

6. 確認ダイアログが表示されるので、「決定」ボタンをクリックします。

メッセージが表示され、「ユーザ定義一覧」画面に作成したユーザ定義が追加されます。

編集	ユーザ定義ID	ユーザ定義名	種別	ユーザカテゴリ	呼出元
	IOWebDOC.ddl	IOWebDOC (ddl)定義	pdfd_ddl	Sample	
	sample.1	sample.1	pdfd_jod	Sample	
	sample.2	sample.2	pdfd_ddl	Sample	

ロジックフロー定義を作成する

FullPack版 IM-LogicDesigner 連携 を利用したロジックフロー定義の作成方法について示します。



コラム

ロジックフロー定義の詳細については、「[IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド](#)」-「[ロジックフロー定義](#)」を参照してください。

- タスクを配置する
- マッピングの設定を行う
 - 共通の設定
 - 出力ファイル
 - 文書情報
 - セキュリティ情報
 - 固有の設定
 - IOWebDOC (iod) 定義
 - 単ページ定義
 - 複数ページ定義
 - IOWebDOC (ddl) 定義
 - 帳票作成 (中間IOD結合) タスク

タスクを配置する

「ロジックフロー定義編集」画面にて、作成する処理に合わせて次のタスクを配置し、ロジックフロー定義を作成します。

- IOWebDOC (iod) 定義
- IOWebDOC (ddl) 定義
- 帳票作成 (中間IOD結合) タスク



コラム

次の入力値はstorage型です。

タスク	入力値
IOWebDOC (iod) 定義	出力ファイルを表す入力値「outputFile」
IOWebDOC (ddl) 定義	出力ファイルを表す入力値「outputFile」
帳票作成 (中間IOD結合) タスク	中間ファイルを表す入力値「iodFiles」 出力ファイルを表す入力値「outputFile」

storage型は、string型やストレージ操作タスクで取得したstorage型などからマッピングしてください。

ストレージ操作タスクの詳細については、「IM-LogicDesigner仕様書」-「ストレージ操作」を参照してください。

マッピングの設定を行う

配置した各タスクで「マッピング設定」画面を開き、入力値のマッピングの設定を行います。

各タスクの共通、および、固有のマッピング設定は、次の通りです。

- 共通の設定
 - 出力ファイル
 - 文書情報
 - セキュリティ情報
- 固有の設定
 - IOWebDOC (iod) 定義 : 帳票データ
 - IOWebDOC (ddl) 定義 : 帳票データ
 - 帳票作成 (中間IOD結合) タスク : 中間ファイル

また、マッピングの設定を行う前に「入出力設定」画面で入出力設定を行ってください。

i コラム

入力値の詳細については、次を参照してください。

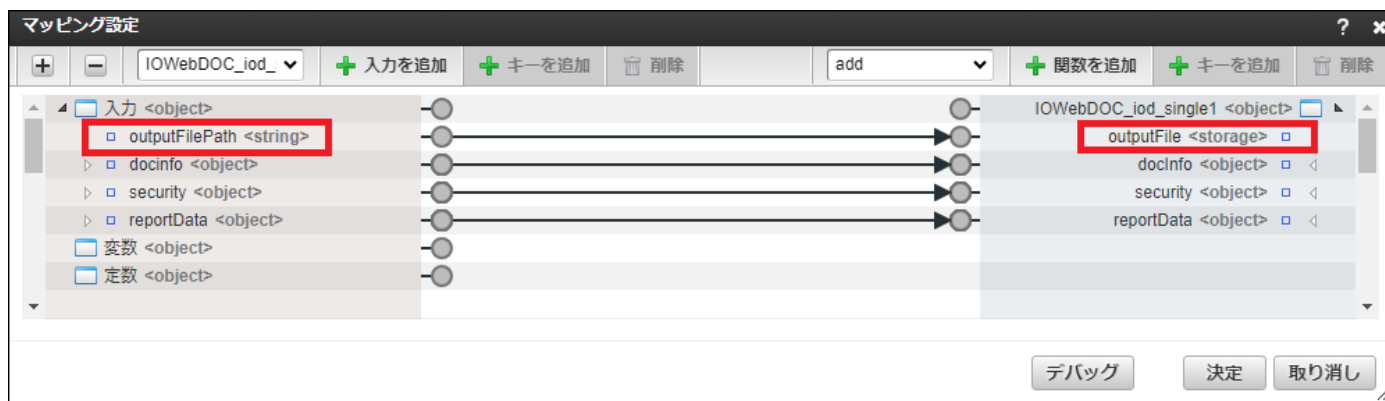
- IOWebDOC (iod) 定義（単ページ定義）：「[入力値](#)」
- IOWebDOC (iod) 定義（複数ページ定義）：「[入力値](#)」
- IOWebDOC (ddl) 定義：「[入力値](#)」
- 帳票作成（中間IOD結合）タスク：「[入力値](#)」

共通の設定

出力ファイル

出力ファイルを表す入力値は「outputFile」です。

「outputFile」は必須のプロパティです。必ずマッピングしてください。



i コラム

「outputFile」はstorage型です。string型やストレージ操作タスクで取得したstorage型などからマッピングしてください。

文書情報

PDF帳票の文書情報を表す入力値は「docInfo」です。

「docInfo」は任意のプロパティです。



i コラム

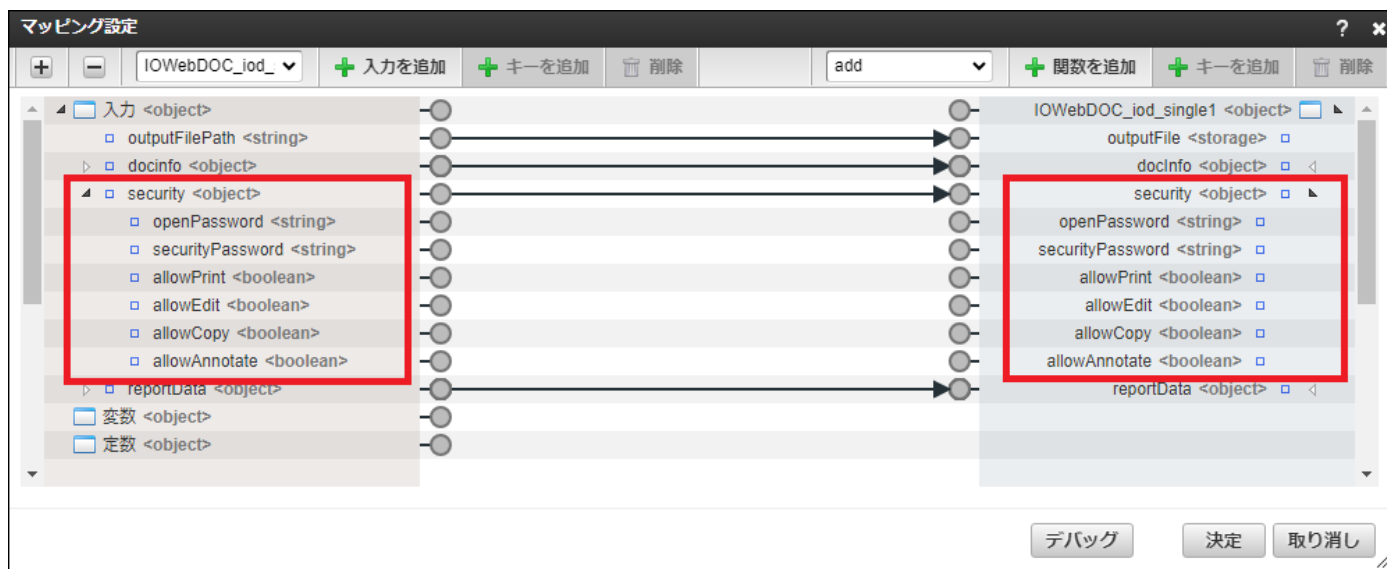
「docInfo」自体をマッピングしない場合、出力されるPDF帳票の全ての文書情報は空になります。

「docInfo」配下のプロパティを個別でマッピングした場合、マッピングしていない対象の文書情報は空になります。

セキュリティ情報

PDF帳票のセキュリティ情報を表す入力値は「security」です。

「security」は任意のプロパティです。



i コラム

「security」自体をマッピングしない場合、出力されるPDF帳票にセキュリティは付与されません。

「security」配下のプロパティを個別でマッピングする場合、マッピング設定は次の通りです。

- 文書を開くパスワードを表す入力値「security.openPassword」をマッピングしない場合、出力されるPDF帳票に文書を開くパスワードは付与されません。
- 文書を開くパスワードを表す入力値「security.openPassword」、および、セキュリティパスワードを表す入力値「security.securityPassword」をマッピングしない場合、他の項目でセキュリティを付与するようにデータが設定されていても、出力されるPDF帳票にセキュリティは付与されません。

! 注意

文書を開くパスワードを表す入力値「security.openPassword」、および、セキュリティパスワードを表す入力値「security.securityPassword」にマッピングされているデータが空の場合、他の項目でセキュリティを付与するようにデータが設定されていても、出力されるPDF帳票にセキュリティは付与されません。

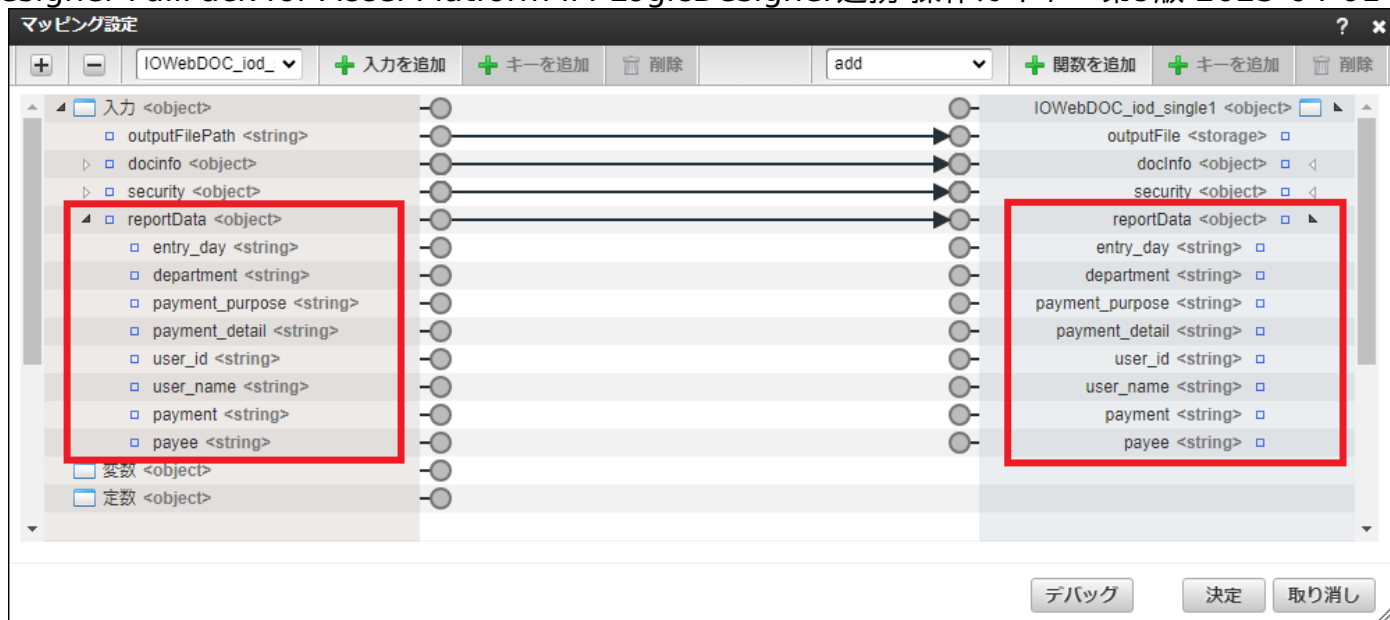
固有の設定

IOWebDOC (iod) 定義

単ページ定義

帳票データを表す入力値は「reportData」です。

「reportData」は任意のプロパティです。



i コラム

「reportData」自体をマッピングしない場合、出力されるPDF帳票の全ての帳票データは空になります。

「reportData」配下のプロパティを個別でマッピングした場合、マッピングしていない対象の帳票データは空になります。

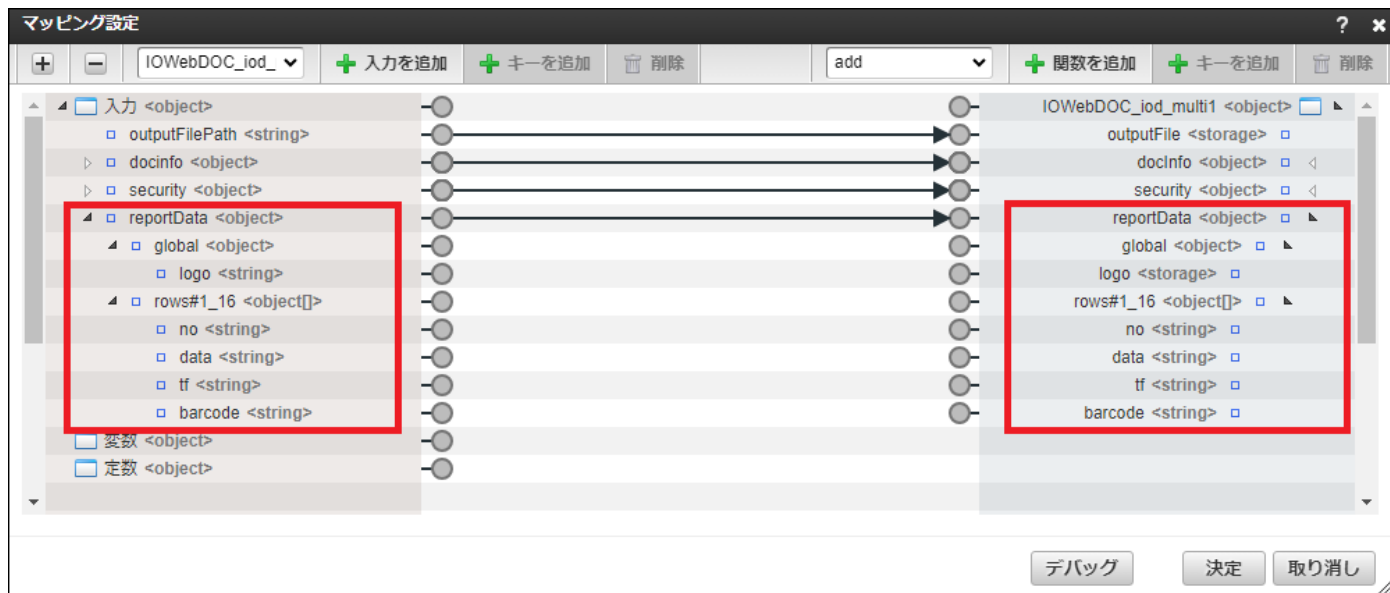
複数ページ定義

帳票データを表す入力値は「reportData」です。

固定データ（ヘッダーやフッターのデータ）を表す入力値は「reportData.global」です。

行データを表す入力値は「reportData.rows#1_n」です。

「reportData」、「reportData.global」、および、「reportData.rows#1_n」は任意のプロパティです。



コラム

次のプロパティ自体をマッピングしない場合、出力されるPDF帳票の全ての帳票データは空になります。

- 「reportData」
- 「reportData.global」
- 「reportData.rows#1_n」

配下のプロパティを個別でマッピングした場合、マッピングしていない対象の帳票データは空になります。

IOWebDOC (ddl) 定義

帳票データを表す入力値は「reportData」です。

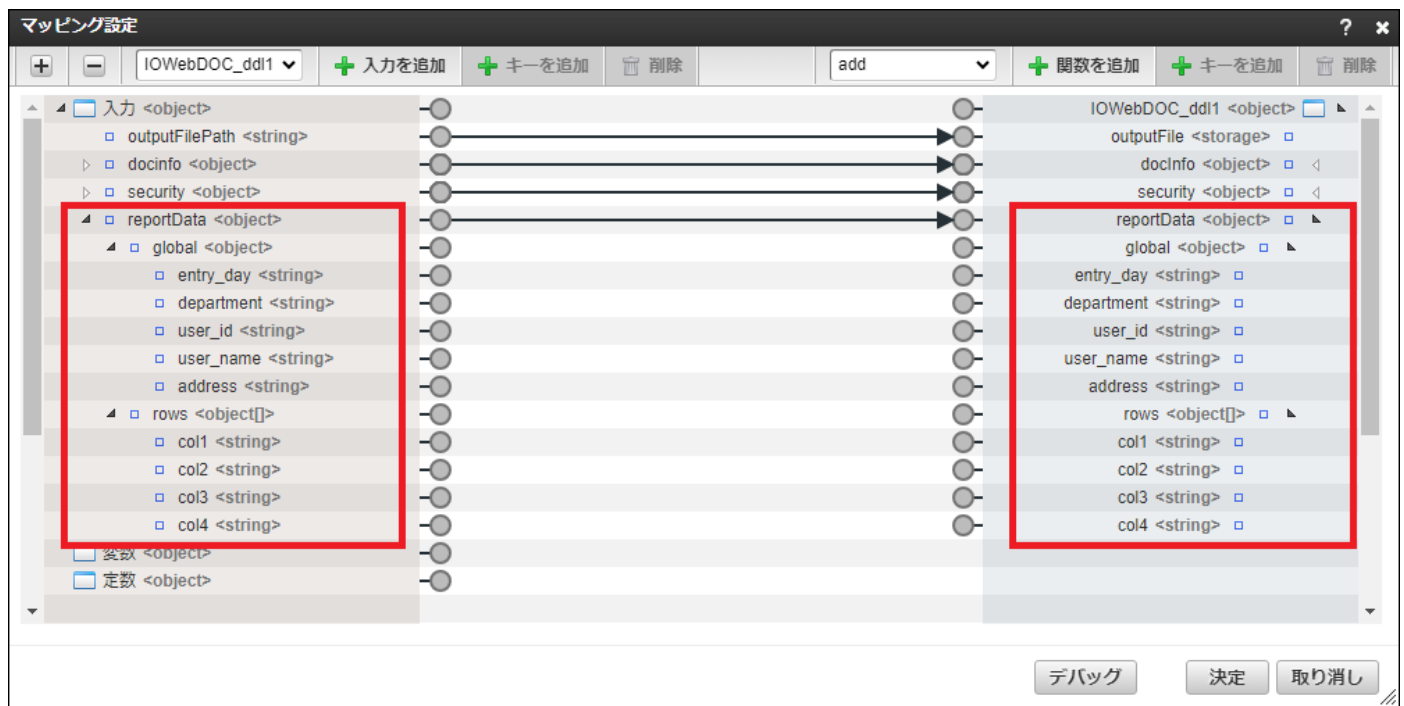
- 外部変数（ヘッダーやフッターのデータ）を表す入力値は「reportData.global」です。

「reportData.global」は任意です。

- 行データを表す入力値は「reportData.rows」です。

行のサムデータを表す入力値は「reportData.rows.col」です。

「reportData.rows」、および、「reportData.rows.col」は必須です。必ずマッピングしてください。



コラム

「reportData.global」自体をマッピングしない場合、出力されるPDF帳票の全ての外部変数は空になります。

「reportData.global」配下のプロパティを個別でマッピングした場合、マッピングしていない対象の外部変数は空になります。



注意

次のケースは、フロー実行時にエラーが発生します。

- 「reportData」自体がマッピングされていない場合
- 「reportData.rows」がマッピングされていない場合
- 「reportData.rows」にマッピングされているデータが空の配列の場合
- 「reportData.rows.col」の一部がマッピングされていない場合

「reportData.rows.col」は全てマッピングする必要があります。

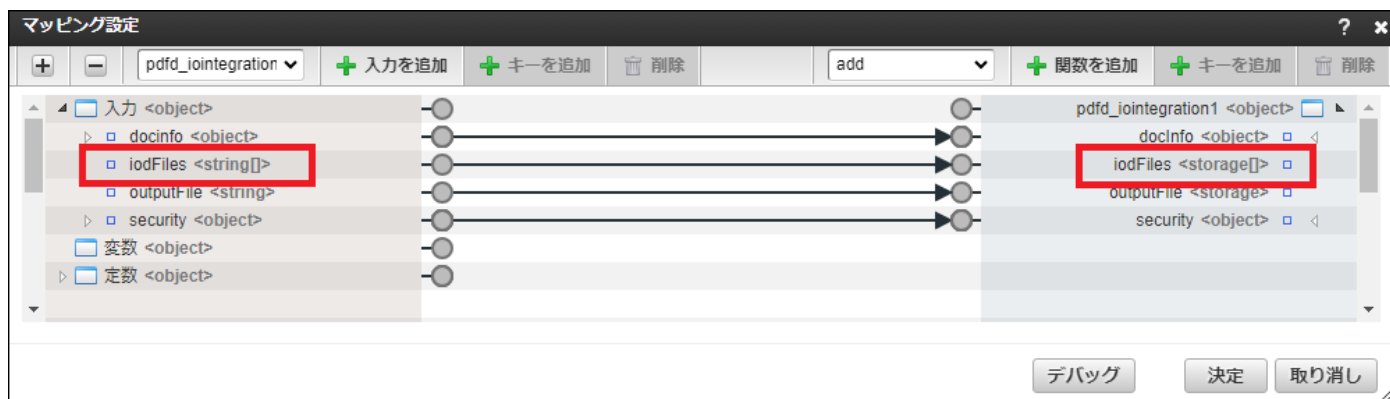
次のような場合、「col3」とマッピングしていないため、エラーが発生します。

```
source <object[]>    reportData.rows <object[]>
  value1 <string> -----> col1 <string>
  value2 <string> -----> col2 <string>
                        col3 <string>
```

帳票作成（中間IOD結合）タスク

中間ファイル（IODファイル）を表す入力値は「iodFiles」です。

「iodFiles」は必須のプロパティです。必ずマッピングしてください。



コラム

「iodFiles」はstorage型の配列です。string型やストレージ操作タスクで取得したstorage型などからマッピングしてください。

ユーザ定義タスク

IOWebDOC (iod) 定義（単ページ定義）

入力値

```
outputFile <storage> *
docInfo <object>
├ title <string>
├ subTitle <string>
├ author <string>
└ application <string>
security <object>
├ openPassword <string>
├ securityPassword <string>
├ allowPrint <boolean>
├ allowEdit <boolean>
├ allowCopy <boolean>
└ allowAnnotate <boolean>
reportData <object>
├ id <storage、または、string>
...
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
outputFile	必須	storage	なし	出力ファイル 必ずマッピングしてください。 指定する拡張子によって出力形式が異なります。 ファイルの拡張子が「.iod」の場合はIODファイル、「.pdf」の場合はPDFファイルが出力されます。 上記拡張子以外、または、拡張子が未指定の場合は、PDFファイルが出力されます。
docInfo	任意	object	なし	PDF文書情報
title	任意	string	なし	タイトル
subTitle	任意	string	なし	サブタイトル
author	任意	string	なし	作成者
application	任意	string	なし	アプリケーション
security	任意	object	なし	PDFセキュリティ情報
openPassword	任意	string	なし	文書を開くパスワード
securityPassword	任意	string	なし	セキュリティパスワード
allowPrint	任意	boolean	なし	true：印刷を許可する false：印刷を許可しない
allowEdit	任意	boolean	なし	true：編集を許可する false：編集を許可しない
allowCopy	任意	boolean	なし	true：転載を許可する false：転載を許可しない

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
allowAnnotate	任意	boolean	なし	true : 注釈追加・変更を許可する false : 注釈追加・変更を許可しない
reportData	任意	object	なし	帳票データ
id	任意	storage 、また は、 string	なし	帳票項目 このプロパティは帳票レイアウトファイルの 識別子毎に生成され、識別子名が項目名にな ります。 帳票項目がイメージボックスの場合は storage、イメージボックス以外の場合は string になります。



注意

IODの形式で出力する際に、「docInfo」、および、「security」を設定しても、その中間IODファイルからのPDF
ファイル作成時には設定が引き継がれません。

上記設定は、「[帳票作成（中間IOD結合）タスク](#)」にてPDFファイルを作成する際に設定してください。

返却値

outputFile <storage>

項目名	型	配列/リスト	説明
outputFile	storage	なし	出力ファイル ファイルの拡張子が「.iod/.pdf」以外、または、拡張子が未指定 の場合は、末尾に「.pdf」が追加されたパスとなります。

IOWebDOC（iod）定義（複数ページ定義）

入力値

```

outputFile <storage> *
docInfo <object>
├ title <string>
├ subTitle <string>
├ author <string>
└ application <string>
security <object>
├ openPassword <string>
├ securityPassword <string>
├ allowPrint <boolean>
├ allowEdit <boolean>
├ allowCopy <boolean>
└ allowAnnotate <boolean>
reportData <object>
├ global <object>
│   └ id <storage、または、string>
│   ...
└ rows#1_n <object[]>
    └ id <storage、または、string>
    ...
    
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
-----	-------	---	--------	----

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
outputFile	必須	storage	なし	出力ファイル 必ずマッピングしてください。 指定する拡張子によって出力形式が異なります。 ファイルの拡張子が「.iod」の場合はIOD ファイル、「.pdf」の場合はPDFファイルが 出力されます。 上記拡張子以外、または、拡張子が未指定 の場合は、PDFファイルが出力されます。
docInfo	任意	object	なし	PDF文書情報
title	任意	string	なし	タイトル
subTitle	任意	string	なし	サブタイトル
author	任意	string	なし	作成者
application	任意	string	なし	アプリケーション
security	任意	object	なし	PDFセキュリティ情報
openPassword	任意	string	なし	文書を開くパスワード
securityPassword	任意	string	なし	セキュリティパスワード
allowPrint	任意	boolean	なし	true : 印刷を許可する false : 印刷を許可しない
allowEdit	任意	boolean	なし	true : 編集を許可する false : 編集を許可しない
allowCopy	任意	boolean	なし	true : 転載を許可する false : 転載を許可しない
allowAnnotate	任意	boolean	なし	true : 注釈追加・変更を許可する false : 注釈追加・変更を許可しない
reportData	任意	object	なし	帳票データ
global	任意	object	なし	固定データ
id	任意	storage 、また は、 string	なし	識別子番号を持たない帳票項目 このプロパティは帳票レイアウトファイル の、識別子番号を持たない識別子毎に生成 され、識別子名が項目名になります。 帳票項目がイメージボックスの場合は storage、イメージボックス以外の場合は string になります。
rows#1_n	任意	object	配列	行データ 項目名の末尾に、1ページごとの最大行数が 追加されます。 例えば、1ページに15行存在する帳票レイ アウトファイルの場合、「rows#1_15」と いう項目名になります。 配列の要素1が1行目、要素2が2行目という 形で対応します。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
id	任意	storage 、また は、 string	なし	識別子番号を持つ帳票項目 このプロパティは帳票レイアウトファイルの、識別子番号を持つ識別子毎に生成され、識別子番号を除外した識別子名が項目名になります。 帳票項目がイメージボックスの場合はstorage、イメージボックス以外の場合はstring になります。

i コラム

識別子番号とは、識別子の末尾に「#数値」と番号付けされたものを指します。

例えば「no#1」の場合は、「#1」が識別子番号となります。

識別子番号は、連票形式のデータとして、同じ列の項目に同じ名前の識別子を設定する際に使用します。

1行目は「no#1」、2行目は「no#2」のように行数に合わせて番号付けします。

IOWe bDOCサンプル

No	データ	文字枠	バーコード
no#1	data#1	名前: tf#1 全角フォント: 明朝 半角フォント: 明朝	名前: barcode#1 種類: CODE39 データ表示: する
no#2	data#2	名前: tf#2 全角フォント: 明朝 半角フォント: 明朝	名前: barcode#2 種類: CODE39 データ表示: する
no#3	data#3	名前: tf#3 全角フォント: 明朝 半角フォント: 明朝	名前: barcode#3 種類: CODE39 データ表示: する
no#4	data#4	名前: tf#4 全角フォント: 明朝 半角フォント: 明朝	名前: barcode#4 種類: CODE39 データ表示: する
no#5	data#5	名前: tf#5 全角フォント: 明朝 半角フォント: 明朝	名前: barcode#5 種類: CODE39 データ表示: する
		名前: tf#6	名前: barcode#6

! 注意

ユーザ定義を作成する際、次の帳票レイアウトファイルを使用するとエラーが発生します。

- 各列の行数が一律でない場合
- 識別子番号が「#1」からの連番でない場合
 - 例1: no#1, no#50, no#100
 - 例2: no#2, no#3, no#4

! 注意

ユーザ定義を作成する際、次の識別子は、末尾が識別子番号として認識されないため、「reportData.global.id」の項目として扱われます。

- 末尾の数値部分の先頭が「0」の場合（例: no#01, no#02, no#03）
- 末尾に「#」と「数値」以外が含まれている場合（例: no#A, no#A2, no#3A）



注意

「reportData.rows#1_n」にデータを指定する際、自由に行数分のデータ（要素数）を指定することが可能です。

n（1ページごとの最大行数分）より多い行数（要素数）を指定した場合、超過した分のデータは2ページ目以降に出力されます。

「reportData.global」の値は、2ページ目以降も同じ値が出力されます。



注意

IODの形式で出力する際に、「docInfo」、および、「security」を設定しても、その中間IODファイルからのPDFファイル作成時には設定が引き継がれません。

上記設定は、「[帳票作成（中間OD結合）タスク](#)」にてPDFファイルを作成する際に設定してください。

返却値

outputFile <storage>

項目名	型	配列/リスト	説明
outputFile	storage	なし	出力ファイル ファイルの拡張子が「.iod/.pdf」以外、または、拡張子が未指定の場合は、末尾に「.pdf」が追加されたパスとなります。

IOWebDOC（ddl）定義

入力値

```
outputFile <storage> *
docInfo <object>
├ title <string>
├ subTitle <string>
├ author <string>
└ application <string>
security <object>
├ openPassword <string>
├ securityPassword <string>
├ allowPrint <boolean>
├ allowEdit <boolean>
├ allowCopy <boolean>
└ allowAnnotate <boolean>
reportData <object>
├ global <object>
│ └ id <string>
│ ...
└ rows <object[]> *
    └ col <string> *
    ...
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
-----	-------	---	--------	----

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
outputFile	必須	storage	なし	出力ファイル 必ずマッピングしてください。 指定する拡張子によって出力形式が異なります。 ファイルの拡張子が「.iod」の場合はIODファイル、「.pdf」の場合はPDFファイルが出力されます。 上記拡張子以外、または、拡張子が未指定の場合は、PDFファイルが出力されます。
docInfo	任意	object	なし	PDF文書情報
title	任意	string	なし	タイトル
subTitle	任意	string	なし	サブタイトル
author	任意	string	なし	作成者
application	任意	string	なし	アプリケーション
security	任意	object	なし	PDFセキュリティ情報
openPassword	任意	string	なし	文書を開くパスワード
securityPassword	任意	string	なし	セキュリティパスワード
allowPrint	任意	boolean	なし	true : 印刷を許可する false : 印刷を許可しない
allowEdit	任意	boolean	なし	true : 編集を許可する false : 編集を許可しない
allowCopy	任意	boolean	なし	true : 転載を許可する false : 転載を許可しない
allowAnnotate	任意	boolean	なし	true : 注釈追加・変更を許可する false : 注釈追加・変更を許可しない
reportData	任意	object	なし	帳票データ
global	任意	object	なし	外部変数データ
id	任意	string	なし	外部変数の帳票項目 このプロパティは帳票レイアウトファイルの外部変数毎に生成され、外部変数名が項目名になります。
rows	必須	object	配列	行データ 必ず1行以上のデータをマッピングしてください。
col	必須	string	なし	行の列データ このプロパティは表の列の数だけ生成されます。例えば、表が5列で構成されている場合、「col1」から「col5」まで生成されます。 必ず全てのプロパティをマッピングしてください。



注意

「reportData.global.id」、および、「reportData.rows.col」に画像ファイルを指定する場合、絶対パスで指定してください。



注意

IODの形式で出力する際に、「docInfo」、および、「security」を設定しても、その中間IODファイルからのPDFファイル作成時には設定が引き継がれません。

上記設定は、「[帳票作成（中間IOD結合）タスク](#)」にてPDFファイルを作成する際に設定してください。

返却値

outputFile <storage>

項目名	型	配列/リスト	説明
outputFile	storage	なし	出力ファイル ファイルの拡張子が「.iod/.pdf」以外、または、拡張子が未指定の場合は、末尾に「.pdf」が追加されたパスとなります。

その他の操作方法

「IOWebDOC (iod)編集」画面、および、「IOWebDOC (ddl)編集」画面でのアップロード以外の操作方法を示します。

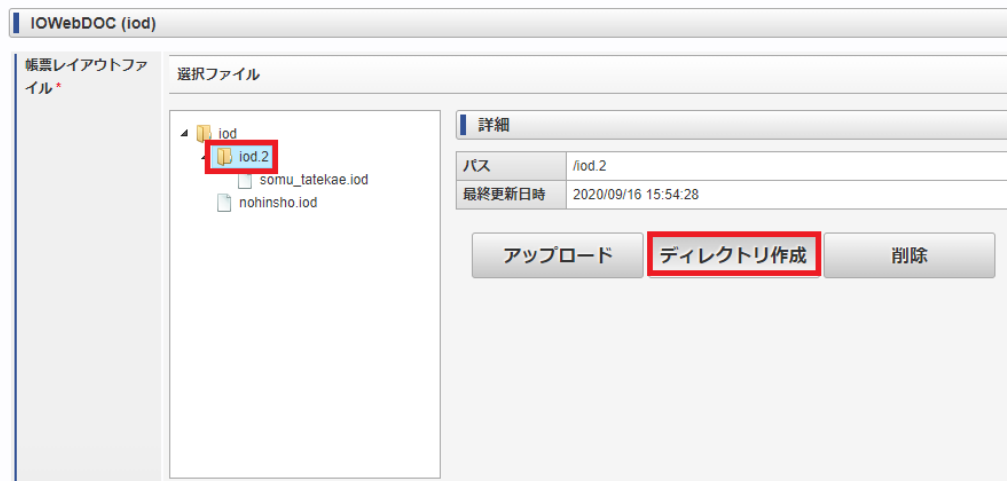


コラム

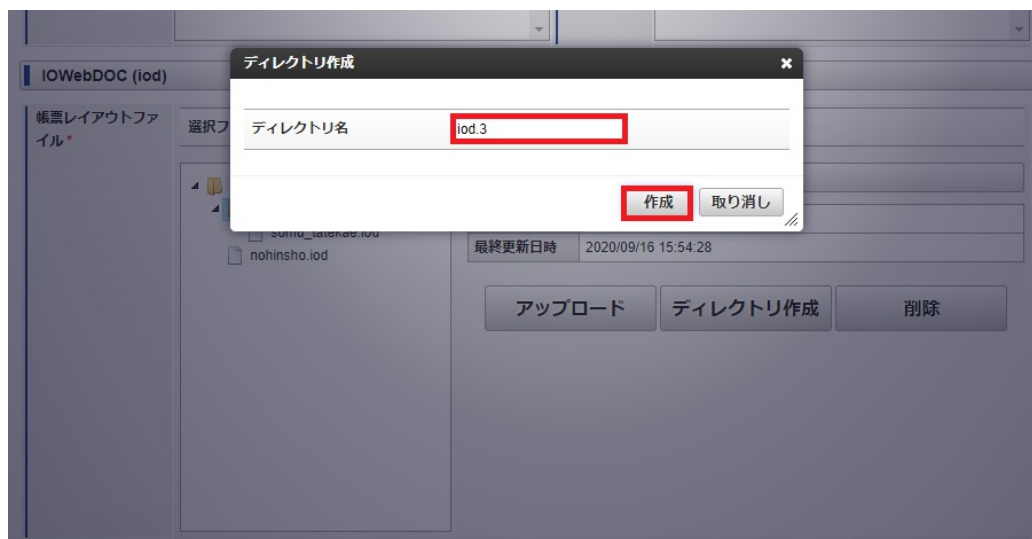
ファイルの拡張子は IOWebDOC (iod) 定義 と IOWebDOC (ddl) 定義 とで異なりますが、操作方法としては同じです。

ディレクトリの作成

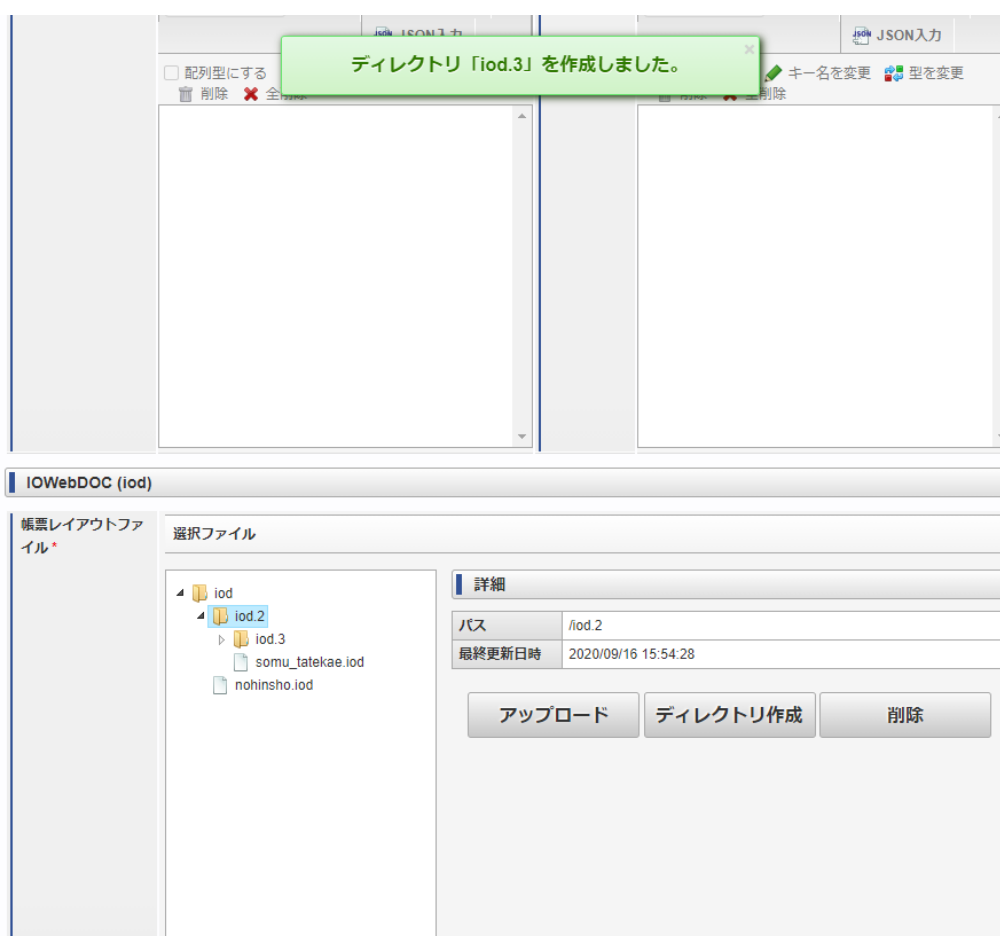
1. 「IOWebDOC (iod)」-「帳票レイアウトファイル」のファイルツリー上で、新規作成するディレクトリの親ディレクトリを選択し、「ディレクトリ作成」ボタンをクリックします。



2. ディレクトリ作成ダイアログが表示されるので、ディレクトリ名を入力し、「作成」ボタンをクリックします。



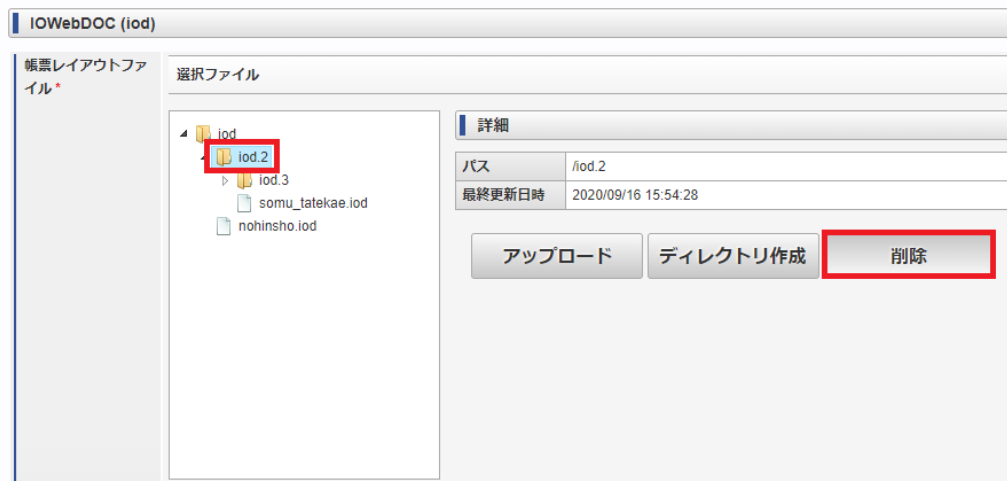
3. メッセージが表示され、ファイルツリー上で選択していた親ディレクトリの配下に、作成したディレクトリが追加されます。



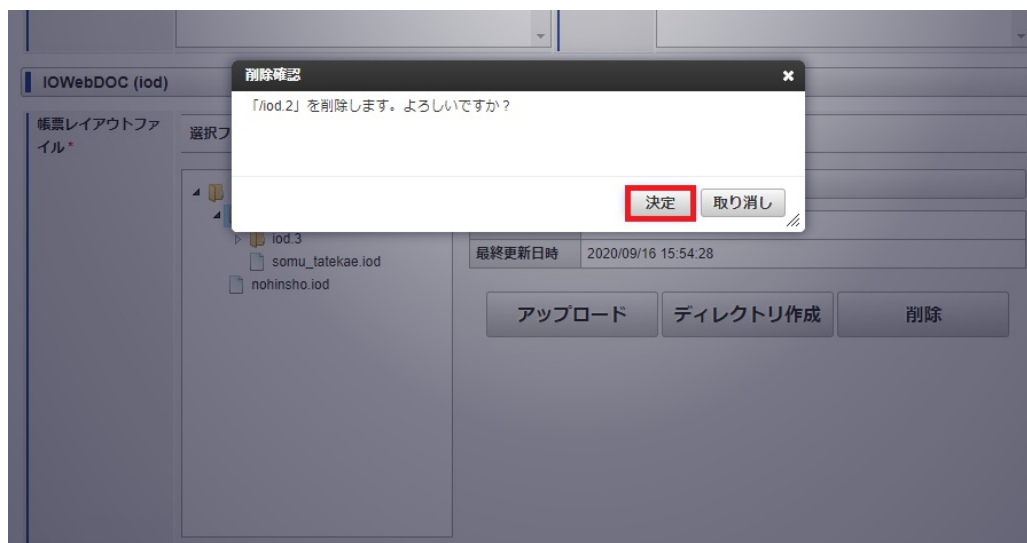
ディレクトリ、および、ファイルの削除

1. 「IOWebDOC (iod)」 - 「帳票レイアウトファイル」のファイルツリー上で削除するディレクトリ、および、ファイルを選択し、「削除」ボタンをクリックします。

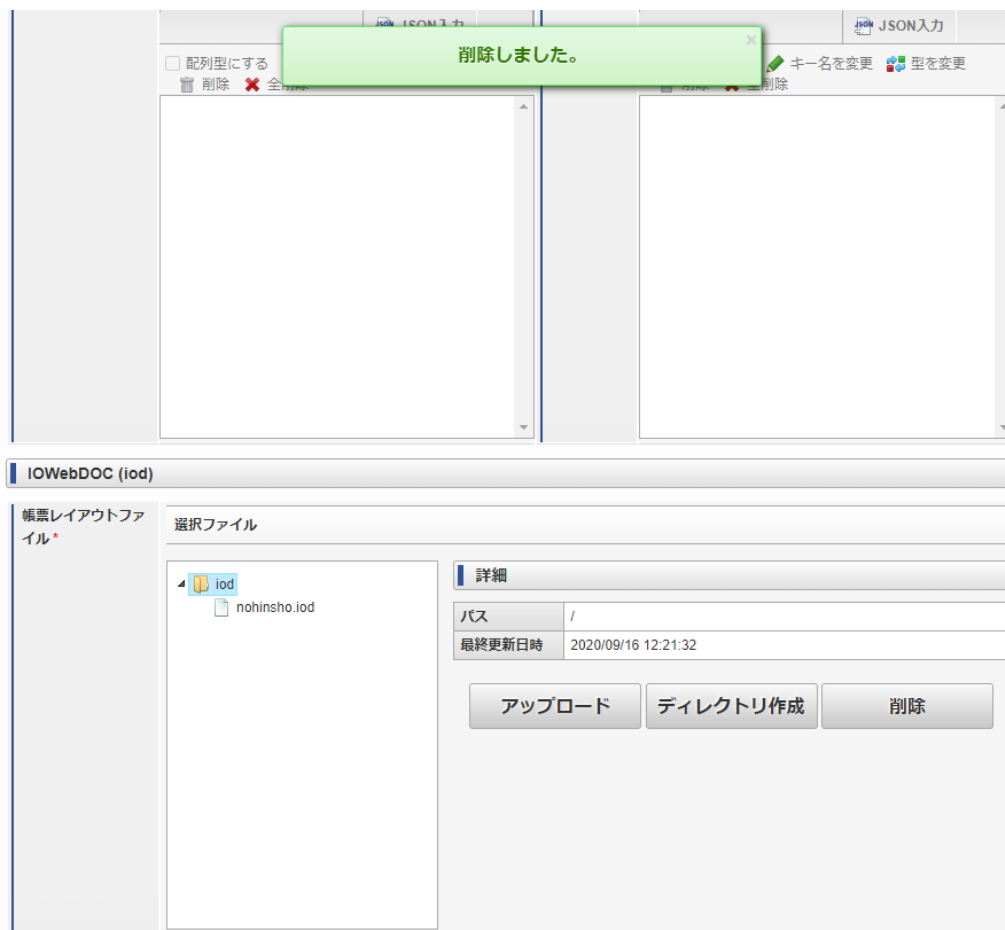
次の例は、ディレクトリを削除する場合です。



2. 削除確認ダイアログが表示されるので、「決定」ボタンをクリックします。



3. メッセージが表示され、ファイルツリー上で選択していたディレクトリ、および、ファイルが削除されます。

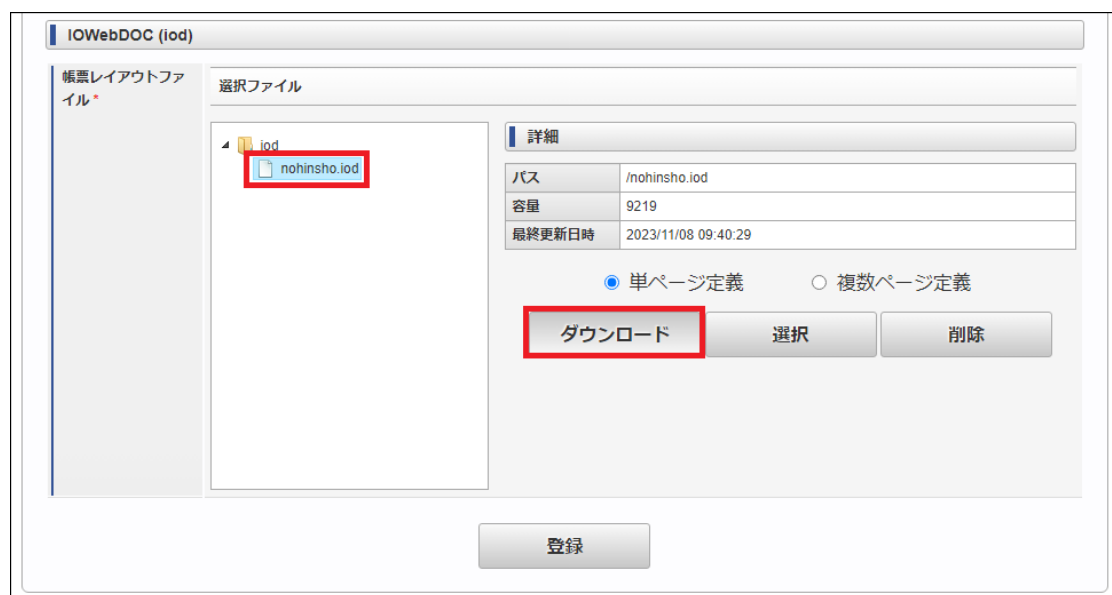


コラム

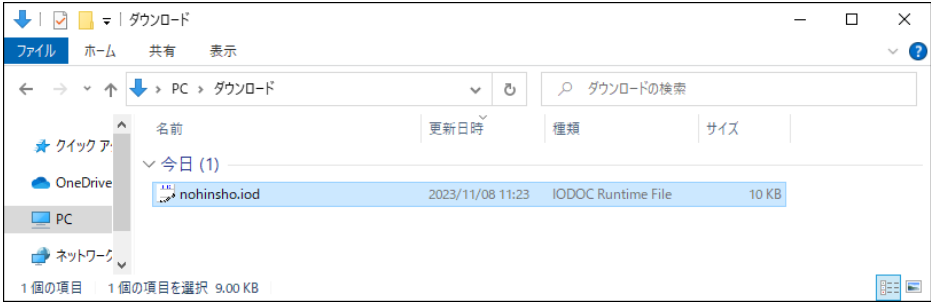
ディレクトリを削除した場合、削除対象のディレクトリ配下にあるディレクトリ、および、ファイルも削除されます。

ファイルのダウンロード

1. 「IOWebDOC (iod)」 - 「帳票レイアウトファイル」のファイルツリー上でダウンロードするファイルを選択し、「ダウンロード」ボタンをクリックします。



2. 選択したファイルがダウンロードされます。



注意

IOWebDOC (iod) 定義、および、IOWebDOC (ddl) 定義 は、IM-LogicDesigner のインポート／エクスポート機能に対応しています。

環境の移行や複製を行う際は、上記機能を使用し、各ユーザ定義をインポート／エクスポートしてください。

ただし、上記機能では、関連する帳票レイアウトファイル、および、画像ファイルを併せてインポート／エクスポートすることはできません。

帳票レイアウトファイル、および、画像ファイルについては、次のような方法で設置してください。

- intra-mart Accel Platform のファイルアップロード／ダウンロード機能での設置
- IOWebDOC (iod) 定義、および、IOWebDOC (ddl) 定義 のファイルアップロード／ダウンロード機能での設置
- サーバにログインして直接ファイルを設置

帳票作成（中間IOD結合）タスク

入力値

```
docInfo <object>
├ title <string>
├ subTitle <string>
├ author <string>
└ application <string>
iodFiles <storage[]> *
outputFile <storage> *
security <object>
├ openPassword <string>
├ securityPassword <string>
├ allowPrint <boolean>
├ allowEdit <boolean>
├ allowCopy <boolean>
└ allowAnnotate <boolean>
```

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
docInfo	任意	object	なし	PDF文書情報
title	任意	string	なし	タイトル
subTitle	任意	string	なし	サブタイトル
author	任意	string	なし	作成者
application	任意	string	なし	アプリケーション
iodFiles	必須	storage	配列	中間ファイル（IODファイル） 必ずマッピングしてください。

項目名	必須/任意	型	配列/リスト	説明
outputFile	必須	storage	なし	出力ファイル（PDFファイル） 必ずマッピングしてください。 ファイルの拡張子が「.pdf」以外、または、拡張子が未指定の場合も、PDFファイルが出力されます。
security	任意	object	なし	PDFセキュリティ情報
openPassword	任意	string	なし	文書を開くパスワード
securityPassword	任意	string	なし	セキュリティパスワード
allowPrint	任意	boolean	なし	true：印刷を許可する false：印刷を許可しない
allowEdit	任意	boolean	なし	true：編集を許可する false：編集を許可しない
allowCopy	任意	boolean	なし	true：転載を許可する false：転載を許可しない
allowAnnotate	任意	boolean	なし	true：注釈追加・変更を許可する false：注釈追加・変更を許可しない

返却値

outputFile <storage>

項目名	型	配列/リスト	説明
outputFile	storage	なし	出力ファイル（PDFファイル） ファイルの拡張子が「.pdf」以外、または、拡張子が未指定の場合は、末尾に「.pdf」が追加されたパスとなります。